

「関東食育連携プラットフォーム～この指とまれ!～」エントリーシート(関東農政局)

■ 活動紹介

団体名等	家庭栄養研究会		
事業内容	家庭栄養研究会は、1969年、安全な食べものと、日本の食文化に根ざした健全な食生活への願いから設立しました。子どもたちの心と体の健康を願い「心と体と社会の健康を同時に高める食生活への提言」を活動の指針としています。「食」を安全性、健康・栄養、食文化、食教育、食料自給という5つの幅広い視点で捉え、さまざまな問題を、会設立と同時に創刊した月刊「食べもの通信」の編集・発行を通じて、会員・読者の疑問に応え、ともに学び、暮らし方を問い直し、考えあう活動をおこなっています		
所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44	ホームページ等	
電話番号	03-3518-0624	F A X	03-3489-5900 03-3518-0622
食育活動 (連携事例を含む)	<p>○子どもたちを取り巻く環境は、必ずしも良好とはいえない状況となっています。事業内容に示したように、子どもたちの「心と体」の健康を願い、「心と体と社会の健康」を同時に高めるための食生活を確立していくことは喫緊の課題です。不健康な社会に、心の健康、体の健康の保障はありません</p> <p>○当会では、上記「提言」を具体化していくために、「食べ方12か条」を設定、これらを啓蒙、普及するために、全員が会員で構成する編集委員会により、月刊「食べもの通信」を編集・発行(2018年2月号は、564号)しています。毎月の特集テーマは、会員・読者の学習会、講演会、見学会の活動テーマとして、講師活動、資料にと活用されています</p> <p>○全国各地に「食べもの通信読者会」が自発的に設けられ、会員・執筆者を講師に毎月ミニ学習会が開催されています</p>		

食育活動写真



【月刊「食べもの通信」1月号】



【新潟県上田市読者会】



【学習会「子どもの脳をどう守る」】

活動の効果	<p>○情報発信の媒体も多様化し、特に食の安全、健康情報が錯綜するなかで、なにが正しい情報なのか戸惑う人たちは増える一方です</p> <p>○会を設立し48年、設立の理念にぶれることなく活動を続ける当会と、月刊「食べもの通信」の食と健康(心と体と社会の健康)に関する問題提起を信頼し、関心をよせてくれる読者・会員が増えています</p>
継続への課題	<p>○グローバル化していく一方の時代に、実態を正しく捉え、揺らぐことのない足元を確保していくために、行政、友好団体、生産者団体等諸団体との情報交換、連携活動をさらに強めていくことが必要と考えています</p>

■ 連携を希望する取組について

連携を希望する業種等	
取組内容	<p>すでに、全国消費者団体連絡会、日本母親大会連絡会、食の安全・監視市民委員会、食品表示市民ねっとわーく等の運営、参加団体として、また、農業・漁業等の生産者団体とも連携し、意見交換・情報交換、各種実践活動をおこなっています</p>